

第一生命経済研レポートテーマ（2005年10～11月）

<p>2005年10月号 (通巻103号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・よくわかる日本の人口 ・セクター分析 	<p>インドで生かす「歴史の遺産」 日本経済 ～重要になる失業率のもう一つの意味～ 米国経済 ～住宅価格の急落による家計部門の低迷リスク～ 日米経済の現状と6ヶ月後の見通し 目前に迫る第3のオイルショックを回避するために 経済構造の変化と中小企業 2005・2006年度日米経済見通し 民間シンクタンク・調査機関の経済見通し ～2005年度の見方はほぼ収斂。2006年度も安定成長がコンセンサス～ 将来推計人口への理解を深めることが重要 ～よくわかる日本の人口⑤【結婚と出産その3】～ 産業別利益動向</p>
<p>2005年11月号 (通巻104号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・よくわかる日本の人口 ・ ・産業トレンド ・セクター分析 	<p>「企業文化」再考 日本経済 ～望ましい物価上昇率をめぐる議論～ 米国経済 ～ハリケーンにも負けず～ 日米経済の現状と6ヶ月後の見通し 日本株上昇とデフレ脱却期待 差別化できていますか？ 転換期にある我が国の労働市場 ～人口減少時代に求められる労働力の確保、雇用ミスマッチの解消～ 株価に連動する男性消費 ～潜在需要が顕在化すれば、名目GDPを+2.9兆円押し上げ～ 超高齢社会に突き進む日本 ～よくわかる日本の人口⑥【人口高齢化】～ 拡大するNANDフラッシュメモリ市場 産業別利益動向</p>

編集後記

12月——“普段は落ち着いている学校の先生も走り回る”ほど忙しい「師走」(しわす)。ついこの前までクールビズだったのに気づいたらはや年末。そろそろ年賀状のことを考えなければならぬ時期になってきた。

そもそも年賀状の起源は遠く平安時代にまで遡る。お正月の1月1日から15日の間にお世話になった方々へ年始挨拶に回る習慣のなかで、訪問できない場合に新年祝いの書状を送ったのが始まりだとか。明治以降、郵便はがきが普及するようになって現在の形が定着したそうだ。年賀状といえば、子どもの頃は1月15日になると「お年玉くじ」の当選番号を家族で照合したのを思い出す。NHKのHPによれば、「お年玉付年賀はがき」は昭和25年から発売され、第1回目の賞品は特等が「ミシン」、1等が「純毛の洋服地」だったそうだ。各年の1等(特等)は、昭和31年が「電気洗濯機」、40年が「テレビ」、58年が「電子レンジ」、平成5年は「BS付大型テレビ・旅行券・羽毛布団」であった。いずれもその時代時代を反映した「人々が欲しいもの」ばかりだ。来る平成18年のお年玉は「ハワイ旅行・国内旅行・ノートパソコン・DVDレコーダー+ホームシアターセット・デジタルビデオカメラ+プリンターセット、のうちの1点」と発表されている。特等が当たる確率は100万枚に2枚と聞くと戦意喪失するが、「切手シート」と言わず、「ホームシアターセット」を夢見て来年の1月15日には久しぶりに当選番号を照合してみたい。(N. I)